

喜多方高校 進路だより

(第4号)



2020年6月5日(金)

喜多方高校進路指導部

【6月の進路行事】

- 6月5日(金) 就職希望者対象ガイダンス
- 6月8日(月)～12日(火) 面接週間(短縮授業)
- 6月19日(金) 3学年進路別講演会
- ~~6月20日(土) 考査前学習会 ←中止~~
- ~~6月27日(土) PTA進路講演会 ←7月25日(土)に延期し3学年保護者対象として実施~~

★3学年進路別講演会

〈日時〉6月19日(金) 6～7校時

〈主な内容〉

- ①大学・短大進学希望者・・・大学入試のしくみと現状
- ②専門学校希望者・・・専門学校選択のポイント、志望理由書の書き方
- ③就職・公務員希望者・・・履歴書の書き方、求人票の見方、面接について

〈講師〉大学・短大・・・仙台養賢ゼミナールの先生

専門学校・・・リクルートの先生 就職・公務員・・・リクルートの先生

～1年生の皆さんへ～

◇文理選択◇

文系か理系かを「本気で」考え「自分で」決定しよう！

6月の中間考査が終了すると、いよいよ文理選択(2年生からの文系・理系クラス分け)に向けた学習や取組が本格的に始まります。1年生の皆さんは、6月末を目安に、2年次以降の文・理系選択および理科と地歴公民の科目選択をしなければなりません。選択を人任せにすることなく、自身のこととして捉え、保護者の方と相談しつつも自分の意志で決定してほしいと思っています。

【文理選択に向けた3つの柱】

- 1 将来の目指す仕事や取得したい資格から決める。
 - ・理系に進まないと就けない仕事、文系に進まないと就けない仕事がある。
 - *特に、理系の学部・学科は資格に直結しているものが多い。
 - ・文系と理系どちらに進んでも就ける仕事も、勿論たくさんある。
- 2 興味のある科目や、学部・学科の学問領域に観点をおいて決める。
 - ・興味のある科目とは、テストで点数が取れる科目、取れない科目という事ではない。
 - ・大学進学後も、長く興味や探求心を持って勉強していける分野なのかどうか重要である。
 - (例)興味関心がないのに、「資格が取れるから医療系でも目指し理系にしておく」などという決め方はあまり望ましくない。
- 3 学部・学科の名称のイメージで決めつけるのではなく、事前に、その内容を調べ吟味する。
 - (例)心理学系統や経済・経営学系統については、文か理かでいえば文系である。しかし、その研究の過程においては数学や統計学の能力が必須である。数学の力がなければ対応できない。

※不明なことや疑問点があれば、些細なことでも遠慮せずに教員に相談すること。

保護者の皆さんへ 6月27日(土)開催予定の「保護者対象進路講演会」の変更について

コロナウイルスの感染防止の観点から、6月27日開催予定の本校進路指導部主催「保護者対象進路講演会」について、その日程での開催を見送ることになりました。その代替として、7月25日(土)開催の「学年保護者会」において、3学年の保護者の方を中心に、事前に企画しておりました内容を実施することになりました。なお、全体講演会については、3学年の保護者の方に加え、2学年の保護者の方にも聴講していただけるように設定しております。是非、ご参会のほど宜しくお願い申し上げます。

専門学校・就職および公務員関係情報

<専門学校入試について(入試の種類・実施時期・留意事項)>

(1)入試の種類

- ① AO 入試 ② 推薦入試 ③ 一般入試

(2)実施時期

- ① AO 入試 : 6月末～9月末、② 推薦入試 : 10月1日～ ③ 一般入試 : 11月1日～

(3)留意事項

※多くの学校が、複数の入試方法を設けているので、単願か併願かなどによってどの方法で入学するかを決めることになる。

※大学入試と違って専門学校では、AO 入試や推薦入試で多くの合格者が出た場合には一般入試の予定は全回実施されず、定員になり次第、入試が終了されることもある。

※専門学校にもさまざまな入試方法があり、大学と同等の受験勉強が求められる医療系のよう、分野・学校によってはしっかり学科試験で選考される場合もある。

<就職活動スケジュール>

- ・ 6月1日 企業がハローワークに高校生向けの求人申込書を提出する。
- ・ 7月1日 高校への求人票の公開が始まる。主にネットで求人票を閲覧する。
- ・ 7月下旬まで 志望企業を数社に絞り込みをする。
- ・ 7月下旬～8月 応募前職場見学、会社見学
- ・ 8月初旬 応募する企業を決定。応募書類の作成をする。
- ・ 8月 面接練習をする。
- ・ 9月5日 学校から企業への応募書類提出開始。1人1社の応募となる。
- ・ 9月16日 企業による選考開始。1週間～10日で合否の連絡がある。
- ・ 10月以降 1人2社の応募が可能になる(地域によってタイミングが異なる)。

※3年生の夏から秋に本格化する高卒就職採用。早くから意識をして準備や対策をしておく、余裕をもって活動ができる。流れに沿って「やるべきこと」を整理しておくこと。

<公務員について>

公務員は「国家公務員」と「地方公務員」に大別される。国家公務員はその名の通り国全体の取り組みに関する仕事を行う。具体的には、国の政策・立案や事業を推進するなど国全体に関する行政サービスを提供する仕事である。国家公務員の種類には、「総合職」・「一般職」・「専門職」の3つに大別される。地方公務員は、都道府県庁や市役所、町村役場、あるいは地方の警察庁や消防署で働く公務員のことである。公務員全体の8割が地方公務員であり、私たちの生活で最も身近な存在の公務員といえる。地方公務員になるには、地方公務員試験を受験し合格する必要がある。

試験は、全国の自治体を実施しており、試験内容や方法なども自治体によって異なる。地方公務員は試験の難易度から「上級」「中級」「下級」と分類される。また、地方公務員の職種には、大きくいうと「行政職」「資格・免許職」「技術職」「公安職」の4つに大別される。

公務員試験は基本的に一次試験で「筆記試験」、二次試験で「面接試験」が実施される。筆記試験は「教養試験」「専門試験」「論文試験」の3つで構成されるのが一般的である。もっとも、筆記試験の中でも論文試験は、二次試験で面接とともに実施する場合がある。なお、この3種類の試験が全ての公務員試験で課されるとは限らない。専門がなく教養のみの試験もある。たとえば警察官の採用試験がこれに該当する。しかし、専門試験が課されない公務員試験はあっても「面接なし」の公務員試験はない。公務員試験は資格試験と違い「就職試験」である。したがって人物試験はどの試験でも避けることができない。公務員試験は学力のみで合格不合格を決定する試験ではない。しかも面接試験では公務員特有の質問もされる。公務員試験の日程は、職種や受験先によりさまざまである。よって、自分の受験先について確認する必要がある。